日本工学院	院八王子専門	門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	保育実習	指導Ⅱ	
科目基礎情	報								
開設学科	こども学科			コース名	幼稚園教諭	 ĵ・保育士コ-		開設期	後期
	2年次			科目区分	必修			時間数	15時間
単位数	1単位			授業形態	演習			7,11334	
	必要に応じ	て資料等を	配布。	32717701	×1				
担当教員情		C 241111 C	HD 1176						
担当教員	三重野真樹					実務経験の有	ち毎・職種	有・保育	+
学習目的	一里为天区					フペリカ 小王・切べ・2	1/M 4-WIE	וז איר	
	I Bにおける編	変宝羽・糸	加宝羽・部分	1生習で学ん	できたことを	・振り返り反省	・評価を行い	各白の課題	 を見つける。保育実習Ⅱで求められて
									・発達過程の理解や実習先の保育目標等
									で使用した実習日誌を参考に学びを深
める。	, 4 - 2 - 3 - 1		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	XII.XII - 11	1 () II I II () 1 ×				
到達目標									
									や技術を習得することができる。
					备に学んだ教 ∜	科の内容をもと	こに、新たな	実習の目標で	を設定する。
	専門性と職業倫 Ⅰに向け事前準				スァレができ	Z			
						る。 行うことができ	きる。		
教育方法等			-,						
	保育実習I	Bで学んだ。	ことを各自学	生が振り返り	りを行い、改	めて反省・評価	■を行い課題 ²	を確認する。	保育実習 と保育実習 の継続性を理
世 以 な 立	解し、保育実習 に向け模擬保育等を通して指導計画を立案、実践をしていく授業内容である。指導計画にあっては1日を想定し、立案する								
授業概要	ものとし実際	祭を想定し事	前準備から約	帛密に行うこ	ととする。				
	/n + + = = = = = = = = = = = = = = = = =	D = = 177.	10 - 1 - 44 - 44	il ba ma	F + D	N 14 /4 /			
						前準備にあって √。授業中の私			指導計画にあっては創意工夫がなされ
注意点	ているかのロ	15.00、冬 年1冊 9	る。垤田のる	い延列で入	/市は㎡∅/よい	、技未中の仏は	亩√捞市电前	の使用は厳	し、拍导する。
	種別	割合					備考		
評	試験・課題	40%	指導計画を	:参考に評価	<u> </u>				
価	小テスト	0%							
方	レポート	0%							
法	成果発表 (口頭・実技)	40%	模擬保育の	発表を評価	ī				
i	# ₽	000/	拉米货车力	.≘π/π:					

	種別	割合	備 考
評	試験・課題	40%	指導計画を参考に評価
価	小テスト	0%	
方	レポート	0%	
法	成果発表 (口頭・実技)	40%	模擬保育の発表を評価
	平常点	20%	授業態度を評価

授業計画(1回~8回)

	授業内容	各回の到達目標
1 🗓	保育実習指導Ⅱガイダンス	保育実習Ⅱの概要と目的について理解することができる
2 🗓	保育実習の課題設定	保育実習 Bを振り返り保育実習 のわたしの課題をたてることができる
3 🗓	日誌の書き方	日誌の書き方を再度確認することができる
4 🗆	指導計画の立案	責任実習の指導計画を立案する
5回	模擬保育発表	模擬保育を実施する
6 💷	模擬保育発表	模擬保育を実施する
7 🗓	指導案の修正	実施した指導計画を反省・評価をもとに修正をする
8 🗓	実習後の流れ	実習後の流れを理解する
9 🗓		
10回		
110		
12回		
13回		
14回		
15回		

日本工学	院八王子専門	門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	保育実習	指導	
斗目基礎情	青報		<u>I</u>	I.			- U		
引設学科	こども学科			コース名	保育士コー	-ス		開設期	前期
対象年次	2年次			科目区分	必修			時間数	15時間
单位数	1単位			授業形態	演習				
科書/教材	必要に応じ	て資料等を	配布。	ı				1	
旦当教員情	与 報								
当教員	三重野真樹					実務経験の	有無・職種	有・保育	±
学習目的	L							<u> </u>	
る目的を	理解し、事前	準備を進めて	ていくことを	目的とする。	保育実習Ⅱ	では責任実習が	が実施されるた	こめ子どもの	を見つける。保育実習Ⅱで求められ 発達過程の理解や実習先の保育目標 で使用した実習日誌を参考に学びを:
	· -			–					P技術を習得することができる。
	I Bで気付いた 専門性と職業倫				降に学んだ教	朴の内容をも	とに、新たな	実習の目標を	設定する。
	I に向け事前準				ることができ	きる。			
責任実習の	の指導計画を立	文案すること	ができ、指導	#計画をもと	に模擬保育を	と行うことがで	きる。		
育方法等	-								
		Bで学んた。	ことを各自学	生か振り返り	りを行い、改	(めて反省・評	価を行い課題	を確認する。	保育実習 と保育実習 の継続性を
業概要	解し、保育実ものとし実際	ミ習Ⅱに向け 祭を想定し事	模擬保育等を前準備から総	を通して指導 綿密に行うこ	計画を立案、 ととする。	実践をしてい	く授業内容で	ある。指導記	†画にあっては1日を想定し、立案 [・]
	解し、保育実 ものとし実際 保育実習 I	≧習Ⅱに向け除を想定し事Bでの学ん;	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎	を通して指導 常密に行うこ とする。課題	計画を立案、ととする。	実践をしてい	く授業内容で ては期限を厳 ⁵	ある。指導記	十画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなる
	解し、保育実 ものとし実際 保育実習 I	≧習Ⅱに向け除を想定し事Bでの学ん;	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎	を通して指導 常密に行うこ とする。課題	計画を立案、ととする。	実践をしてい	く授業内容で ては期限を厳 ⁵	ある。指導記	十画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなる
	解し、保育実 ものとし実際 保育実習 I ているかの音	習 Ⅱ に向け	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎	を通して指導 常密に行うこ さとする。課 ない遅刻や欠	計画を立案、 ととする。 題を見つけ事 席は認めない	実践をしてい	く授業内容で ては期限を厳 [*] 語や携帯電話	ある。指導記	十画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなる
意点評価	解し、保育ま ものとし実際 保育実習しているかの部 種別 試験・課題 小テスト	図 II に向け A を想定し事 B での学ん。 B か 子 ア 子 ア チ ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	模擬保育等を 前準備から編 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を	を通して指導 常密に行うこ さとする。課 ない遅刻や欠	計画を立案、 ととする。 題を見つけ事 席は認めない	実践をしてい	く授業内容で ては期限を厳 [*] 語や携帯電話	ある。指導記	十画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなる
意点評価方	解し、保育実 ものとし実際 保育実習しているかの部 種別 試験・課題 小テスト レポート 成果発表	 記習 II に向け	模擬保育等を 前準備から紛 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を	を通して指導 常密に行うこ さとする。課 はい遅刻や欠	計画を立案、ととする。 題を見つけ事 席は認めない	実践をしてい	く授業内容で ては期限を厳 [*] 語や携帯電話	ある。指導記	十画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなる
意点評価	解し、保育実 ものとし実際 保育実習しているかの部 種別 試験・課題 小テスト レポート 成果発表 (口頭・実技)	図 II に向け 系を想定し事 Bでの学ん; B分を評価す 割合 40% 0% 40% 40%	模擬保育等を 前準備から約 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を 模擬保育の	を通して指導 常密に行うこ とする。課 以い遅刻や欠 参考に評価	計画を立案、ととする。 題を見つけ事 席は認めない	実践をしてい	く授業内容で ては期限を厳 [*] 語や携帯電話	ある。指導記	十画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなる
意解価方法	解し、保育実 ものとし実際 保育実習しているかの部 種別 試験・課題 小テスト レポート 成果発表	図 II に向け 系を想定し事 Bでの学ん; B分を評価す 割合 40% 0% 40% 40%	模擬保育等を 前準備から紛 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を	を通して指導 常密に行うこ とする。課 以い遅刻や欠 参考に評価	計画を立案、ととする。 題を見つけ事 席は認めない	実践をしてい	く授業内容で ては期限を厳 [*] 語や携帯電話	ある。指導記	十画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなる
意点評価方法	解し、保育実 ものとし実際 保育実習しているかの部 種別 試験・課題 小テスト レポート 成果発表 (口頭・実技) 平常点	図 II に向け 系を想定し事 Bでの学ん; B分を評価す 割合 40% 0% 40% 40%	模擬保育等を 前準備から約 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を 模擬保育の	を通して指導 常密に行うこ とする。課 以い遅刻や欠 参考に評価	計画を立案、ととする。 題を見つけ事 席は認めない	実践をしてい	く授業内容で ては期限を厳 語や携帯電話 備 考	ある。指導記	十画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなる
意点評価方法業計画	解し、保育実 ものとし実際 保育実習しているかの部 種別 試験・課題 小テスト レポート 成果発表 (口頭・実技) 平常点	記習II に向け を想定し事 Bでの学ん: Bかの学ん: Bかの学ん: Bかの学ん: Bかの学ん: Bかの学ん: A0% 40% 0% 40% 20% 授業内容	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を 模擬保育を 授業態度を	を通して指導 常密に行うことする。 課題 ない遅刻や欠 参考に 評価 発表を 評価	計画を立案、ととする。 題を見つけ事席は認めない	実践をしてい	く授業内容で ては期限を厳 語や携帯電話 備 考 各回の到	ある。指導語	十画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなる
意言解析方法業計画	解し、保育実 ものとし実習しているかの部 種別 試験・課題 小テストレポート 成果発表 (コ国〜8回)	智川に向け 系を想定し事Bでの学ん:予分を評価す割合40%0%40%20%授業内容非ガイダン	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を 模擬保育を 授業態度を	を通して指導 常密に行うことする。課業 い遅刻や欠 参考に 評価 保育実習	計画を立案、ととする。 題を見つけ事席は認めない	実践をしてい	く授業内容で ては期限を厳 語や携帯電話 備 考 各回の至 することがで	ある。指導言 守すること。の使用は厳 財達目標 きる	計画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなさ しく指導する。
意 評価方法 計画	解し、保育実 ものとし実際 保育実習 ているかの部 種別 試験・課題 小テスト レポート 成果発表 (1回~8回) 保育実習指導	記習 II に向け	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を 模擬保育の 授業態度を	を通して指導 ・	計画を立案、 ととする。 題を見つけ事 席は認めない の概要と目的 Bを振り返り	実践をしてい	く授業内容で ては期限を厳す語や携帯電話 備 考 各回の至ってることがで わたしの課題	ある。指導言 守すること。の使用は厳 財達目標 きる	計画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなさ しく指導する。
意 評価方法 計画 回回回	解し、保育実 ものとし実習しているかの部 種別 試験・課題 小テスト レポート 成果発表 (コ回~8回) 保育実習指導	 智川に向け 系を想定し事 Bでの学ん。 別合 40% 0% 40% 20% 授業内容 算川ガイダン 課題設定 5 	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を 模擬保育の 授業態度を	を通して指導。 とする。課 とする。課 の 参考に評価 参考を評価 保育実習 保育実習 日誌の書き	計画を立案、 ととする。 題を見つけ事 席は認めない の概要と目的 Bを振り返り	実践をしてい 前準備にあっ 、。授業中の私 内について理解 保育実習 の	く授業内容で ては期限を厳す語や携帯電話 備 考 各回の至ってることがで わたしの課題	ある。指導言 守すること。の使用は厳 財達目標 きる	計画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなさ しく指導する。
意 評価方法 計 回 回 回	解し、保育実物のとし実際であるかの部では、保育実際であるかの部では、保育実際では、いるが、のでは、保育、実際では、は、保育、実際では、保育、実際では、保育、実際では、保育、実際では、保育、実際では、保育、実際では、保育、実際では、保育、関係では、保育、関係では、保育、関係では、保育、関係では、保育、関係では、保育、関係には、保育、関係には、保育、関係には、保育、関係には、保育、関係には、保育、関係には、保育、関係には、保育、関係には、保育、関係には、保育、関係には、保育、関係には、保育、関係には、保育、関係には、保育、関係には、保育、保育、保育、保育、保育、保育、保育、保育、保育、保育、保育、保育、保育、	 記習 II に向け	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を 模擬保育の 授業態度を	を通して指導。 とする。課 とする。課 の 参考に評価 参考を評価 保育実習 保育実習 日誌の書き	計画を立案、 ととする。 題を見つけ事 席は認めない の概要と目的 Bを振り返り 方を再度確認	実践をしてい 前準備にあっ 、。授業中の私 内について理解 保育実習 の	く授業内容で ては期限を厳す語や携帯電話 備 考 各回の至ってることがで わたしの課題	ある。指導言 守すること。の使用は厳 財達目標 きる	計画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなさ しく指導する。
意 評価方法 計 回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	解し、保育実際 保 のとし実 の 部	 智川に向け	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を 模擬保育の 授業態度を	を通して行うことする。課題を とする。課題を 参考を表価 保育実実の書類に 保育実際の 保育の 関目を に に に 行うこ に で の に で の に の に の に の に の に り に り に り に り に り に	計画を立案、 ととする。 題を見つけ事には認めない のの概要には認めない を見がない を見がない を見がない を見がない を見がない を見がない を表がる。	実践をしてい 前準備にあっ 、。授業中の私 内について理解 保育実習 の	く授業内容で ては期限を厳す語や携帯電話 備 考 各回の至ってることがで わたしの課題	ある。指導言 守すること。の使用は厳 財達目標 きる	計画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなさ しく指導する。
意 評価方法 計 回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	解し、保育実際 保のとし実習 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	 記習 II に向け	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を 模擬保育の 授業態度を	を通して行うことする。課題とする。課題を 参考表を評価	計画を立案、 題を見つけない 題を見つけない を見がある。 の概 を見いない というない を見いない を見い	実践をしてい 前準備にあっ い。授業中の私 内について理解 保育実習 の 認することがで 文案する	く授業内容で ては期限を厳 語や携帯電話 備 考 各回の至 することがで わたしの課題 きる	ある。指導言 守すること。の使用は厳 財達目標 きる	計画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなさ しく指導する。
意 評価方法 計 回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	解し、とし実習しているのの音を表しているのでは、保育実際であるがのできます。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、「ない」では、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまないまない。」は、「ないまないまない。」は、「ないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	 智川に向け	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を 模擬保育の 授業態度を	を通いとする。 参 発評 保保 日 責 模 擬 保 に で を で で で で で で で で で で で で で で で で で	計画を立案、。 題をする。 題を見つけない のののでは認めない のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のの	実践をしていず準備にあった。授業中の私力について理解保育実置していてなる。	く授業内容で ては期限を厳 語や携帯電話 備 考 各回の至 することがで わたしの課題 きる	ある。指導言 守すること。の使用は厳 財達目標 きる	計画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなさ しく指導する。
価方法 業計 回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	解し、保育実際 保のとし実習 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	 智川に向け	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を 模擬保育の 授業態度を	を通いとする。 参 発評 保保 日 責 模 擬 保 に で を で で で で で で で で で で で で で で で で で	計画を立案、 題を見つけない 題を見つけない を見がある。 の概 を見いない というない を見いない を見い	実践をしていず準備にあった。授業中の私力について理解保育実置していてなる。	く授業内容で ては期限を厳 語や携帯電話 備 考 各回の至 することがで わたしの課題 きる	ある。指導言 守すること。の使用は厳 財達目標 きる	計画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなさ しく指導する。
(詳価方法 計 回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	解し、とし実習しているのの音を表しているのでは、保育実際であるがのできます。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、「ない」では、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまないまない。」は、「ないまないまない。」は、「ないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	 智川に向け	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を 模擬保育の 授業態度を	を通いとする。 参 発評 保保 日 責 模 擬 保 に で を で で で で で で で で で で で で で で で で で	計画を立案、。 題をする。 題を見つけない のののでは認めない のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のの	実践をしていず準備にあった。授業中の私力について理解保育実置していてなる。	く授業内容で ては期限を厳 語や携帯電話 備 考 各回の至 することがで わたしの課題 きる	ある。指導言 守すること。の使用は厳 財達目標 きる	計画にあっては1日を想定し、立案で 指導計画にあっては創意工夫がなる しく指導する。
設定 評価方法 計 回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	解し、とし実習しているのの音を表しているのでは、保育実際であるがのできます。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、大きない。 「大きない」では、「ない」では、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまない。」は、「ないまないまない。」は、「ないまないまない。」は、「ないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	 智川に向け	模擬保育等を 前準備から紹 だことを基礎 る。理由のな 指導計画を 模擬保育の 授業態度を	を通いとする。 参 発評 保保 日 責 模 擬 保 に で を で で で で で で で で で で で で で で で で で	計画を立案、。 題をする。 題を見つけない のののでは認めない のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のの	実践をしていず準備にあった。授業中の私力について理解保育実置していてなる。	く授業内容で ては期限を厳 語や携帯電話 備 考 各回の至 することがで わたしの課題 きる	ある。指導言 守すること。の使用は厳 財達目標 きる	計画にあっては1日を想定し、立案 指導計画にあっては創意工夫がなる しく指導する。